

授業科目 地域保健指導論演習

【担当教員名】 西脇友子 清水由美子 丸山敬子 杉本洋 北村香織	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【<概要>又は<一般目標：G I O>】				
地域において個人や集団を対象として展開される保健指導の方法を、演習を通して習得する。				
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】				
1. 人々の健康行動の特徴と効果的な介入方法を説明する。 2. 個人および集団を対象とした保健指導計画を立案する。 3. 既習の理論を活用し、対象にあわせた保健指導を展開する。 4. 実施した保健指導の評価方法を説明する。				
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1 演習オリエンテーション, 個人を対象とした保健指導の展開 1 2 個人を対象とした保健指導の展開 2 3 個人を対象とした保健指導の展開 3 4 個人を対象とした保健指導の展開 4 5 グループ発表 1 6 個人を対象とした援助と地域連携 7 集団を対象とした健康教育の展開 1 8 集団を対象とした健康教育の展開 2 9 集団を対象とした健康教育の展開 3 10 集団を対象とした健康教育の展開 4 11 集団を対象とした健康教育の展開 5 12 集団を対象とした健康教育の展開 6 13 グループ発表 2-1 14 グループ発表 2-2			1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 講義 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習 1~4 演習
演習にはPBLを取り入れる				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	行動変容をサポートする保健指導バイタルポイント 足達淑子 医歯薬出版 2007年 2,310円			
参考書	地域看護学. J p 荒賀直子・後閑容子 インターメディカル 3,390円 標準保健師講座2 地域看護技術 中村裕美子 医学書院 3,150円			
その他の資料				
【評価方法】 出席状況や演習への取り組み (40%) 筆記試験、レポート (60%)	【履修上の留意点】 地域看護学実習 I で必要となる知識や技術である。 実習を意識し、学生一人ひとりが確実に習得できるようにすること。			

看護学
科
専
門